

〈皆様からいただいたご意見とそれに対する回答〉

No.	ご意見事項（要旨）	回答
1	<p>7ページの新駅周辺の現況①人口分布について、まちづくりを考えるための情報とするならば、この範囲での表示は土地利用の現況と乖離し、実態ではありません。</p> <p>また、瑞穂町都市計画マスタープラン47ページに土地利用方針図が示されている中で、この表示の目的がわかりません。</p>	<p>人口分布の資料については、モノレール開業に伴う人口増加が期待されることもあり記載しました。なお、瑞穂町の人口分布の概況をお示しすることを目的に大字別で取りまとめています。</p>
2	<p>新駅周辺の概要に横田基地の所在がすることによる、まちづくりに対する制約や騒音コンター、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」などの影響と現状が触れられていない。まちづくりにおいて慎重な配慮をすべき事項と考えます。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、記載の充実を検討します。</p>
3	<p>新駅周辺の概要に、政策課題対応型都市計画運用指針に示された、いくつかの項目について町の現状記述があっても良いと思います。</p> <p>※町による補足 政策課題対応型都市計画運用指針…現在直面している、産業構造の変化、少子・高齢化社会、地球環境問題、さらには人口減少時代の到来と大きな時代の転換期に対応するため、積極的な都市計画をしていくための国土交通省による指針</p>	<p>本構想は、モノレール延伸を契機とした町が将来目指すべきまちづくりの方向性を示したものです。</p> <p>いただいたご意見については、今後、検討に着手するまちづくり基本計画の策定に際して、参考とさせていただきます。</p>
4	<p>今回の基本構想（案）ですが、新駅周辺のまちづくりに限定した構想であり、モノレールが通過しない地区の町民には自分の地区とどうかかわるのかわかりづらい。28ページではモノレールが通らない地区も含めたまちづくりのおおきな流れを示し、その中で今回の駅周辺の構想の流れを示していた方がわかりやすい。</p> <p>国道16号の南側に位置する高根・駒形は町づくり計画で何の拠点にもなっていない。店もほとんどなく、町の施設もない。行政から取り残された地域という思いが多く多くの住民にある。まず買い物、医療、その他生活に必要な環境づくりは住民サービスのベースです。これをモノレール延伸に絡め実現できなければ元狭山、長岡、武蔵野の地区の住民は落胆します。</p>	<p>瑞穂町としては、多摩都市モノレールの延伸効果を、駅周辺エリアのみならず、町全体、ひいては多摩地域全体の発展につなげていく考えです。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、記載の充実を検討します。</p> <p>本構想については、モノレール延伸の影響が大きい新駅周辺に主眼を置いたものとなりました。</p> <p>今後、検討に着手するまちづくり基本計画等においては、モノレール延伸の効果を、新駅周辺だけでなく、元狭山、長岡、武蔵野地区を含めた町全体に波及させるまちづくりについて検討していく予定です。</p>

<p>今回は基本構想であり、具体性がないため住民懇談会が予定されているようですが、質問で終わってしまうのではないかと。また新駅周辺だけでなくモノレールの通過しない地区のまちづくり構想についても同様の事を企画してほしい。</p> <p>5 次に事業計画の段階では住民の意見を取り込む方法を考えてほしい。協働のまちづくり掲げていますが、計画の段階での協働がいつも抜けている。そしてこの段階でこそ各地区で住民懇談会を開催してほしいと思います。住民が一番関心があるのは具体的な計画である。</p>	<p>本構想策定に当たっては、28ページに記載のとおり、住民懇談会を8月23日及び同月27日に瑞穂町役場庁舎にて実施し、多くのご意見をいただきました。</p> <p>次の段階となる、まちづくり基本計画の策定時においても、住民懇談会やパブリックコメントを実施するほか、様々な機会を通じて各地域の皆様のご意見をしっかりと聴取、反映できるよう努めてまいります。</p>
--	---